

わたしの 妊娠報告書

記載日 平成22年 7月 26日

おめでた宣言日	平成22年 6月
年齢 (35) 歳	平成(15)年(/)月 結婚
私は (体外受精) で妊娠しました。	

不妊治療歴

(3) 年 () ヶ月

他院での治療歴

なし あり → 内容 (タイミング法)

ASKAでの治療歴

一般不妊治療

- 自然排卵 タイミング法 (3) 回
- 排卵誘発 タイミング法 (3) 回
- 自然排卵 + 人工授精 (0) 回
- 排卵誘発 + 人工授精 (6) 回

生殖補助医療

- DOST 法 (0) 回
- 体外受精 (1) 回
- 顕微授精 (0) 回

妊娠の秘訣・心がけていた事

どうしても、マイナス思考に陥ってしまいがちでした。家にいると煮つまてくるので仕事をする事で、気をまぎらわせていました。
夫も協力的だったので、治療がうまくいかなかったりすると、旅行に連れて行ってくれたりと私にとっては、かなりハレの支えになってくれました。
とにかく、あせらず、のんびりと日々を過ごす様、心がけていました。

わたしの 妊娠報告書

治療にまつわる苦労話し

治療内容

最初は「AIミシフ」→人工受精→体外受精とすすめました。

体外受精に踏み込むには、金銭面や治療に対する不安があり、かなり悩みましたが、「できる事は、すべてやろう」と言う夫の言葉で「前に進む事ができます。採卵までが、おなかがぽり、毎日の注射がうらくなり、パンがなんども折れそうになりますが、採卵後、先生の「らく苦い分、報われる時が必ず来る」との言葉で乗り越えられました。

その他（通院・治療費・家族など）

通院は、最寄りの駅からバスで15分、家からだと車で20分くらいだったのですが、苦にはなりませんでした。夫もできるだけ、送り迎えをしてくれたので助かりました。職場も協力的だったので助かりました。ただ、治療費は、わかつていたのですが、働いていても貯金を崩さざるをえなくなり、つらかったです。やはり、国が、もう少し援助してくれたらと思いました。

治療中の方へのアドバイス

先の見えない、道のりなので本当に苦しく、つら一日々だと想います。

いつも身体もめまいがするになると思ひます。でも、自分を責めないうちに、何よりもストレスをためず、楽しい事を想像しながら、先生を信じて治療をつづけて下さい。

スタッフへのご意見など

受付の方、いつもいいのに、笑顔で、いつも心に残っています。看護師の皆さん、注射アラリの時や、治療の途中で不安になつている私の話を聞いてくださり、とても心の支えになりました。本当にありがとうございます。中山先生、先生に出会えた事で、つらい治療も、苦しかった期間も、乗り越える事ができました。本当に感謝しています。ありがとうございます。